

◎ 定借権付き住宅「エル・カトラン」 を新展開 全国大会で発表

カメラグローバル

カトランホームを展開するカメラグローバル(本社・大阪府岸和田市、高橋純社長■072・439・1294)は10月24日、大阪泉佐野市内で11回目の全国大会を開催、加盟店や資材会社などから100人以上が集まった。

大会では、今年4月から半年間の販売棟数、デザインの優秀者を表彰、加盟各社の結束を固めた。後半の野村総合研究所名古屋オフィスの奥田誠代表による講演では、人口減少や少子高齢化などの資料をもとに、将来の企業像を説明した。

大会では高橋純社長が10月から新展開する「エル・カトランシステム」を発表した。これは同社が10年前から直営で実施してきた定期借地権付き住宅をシステム化し、フランチャイズ・チェーン展

開するもの。「定借には地主と施主の双方にメリットがある」と話す。地主は毎年一定の借地代が

入り、50年後には更地で返還される。一方施主は土地代分を建築費にあてられる。土地に対する固

定資産税もかからない。エル・カトランは既にカトランFCに加盟していれば無償。チラシ・販

促ツール支援や契約書類のほか段階に即した研修などのサービスが受けられる。

出典: 新建ハウジング
平成19年11月10日